

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2012-502700(P2012-502700A)

【公表日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2011-527172(P2011-527172)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月8日(2012.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

I O L (12)を受け入れるためのスペース(19)を備えるとともに、対向する側壁上に開口(17a、17b)を有するカセット本体(13)と、

前記カセット本体(13)を閉鎖するためのカセットリッド(23)と、

前記カセット本体(13)上に設けられ、前記カセットリッド(23)により閉鎖された前記カセット本体(13)をインジェクタ(31)に締結し、且つ前記インジェクタに對して向きを定めることができる結合手段と、

とから構成され、

前記カセットが閉鎖されたときに、前記カセットリッド(23)が前記受入スペース(19)及び前記開口(17a、17b)を閉鎖することを特徴とするカセット。

【請求項2】

前記カセットリッド(23)の縁部と前記カセット本体(13)との間にシールが設けられ、好ましくは前記カセット本体(13)のハウジング外周の周辺溝内に構成されることを特徴とする請求項1に記載のカセット。

【請求項3】

前記インジェクタ(31)上の第2の結合手段と回転可能に相互作用することができる第1の結合手段が前記カセット(11)上に設けられることを特徴とする請求項1または2に記載のカセット。

【請求項4】

前記カセット本体(13)は、前記カセットリッド(23)が前記カセット(11)の閉鎖状態で置かれ、シールを形成することができる周辺シール縁部(19)を外部に有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のカセット。

【請求項5】

前記カセットリッド(23)及び前記カセット本体(13)を共に解除可能に接合するために、前記カセットリッド(23)及び前記カセット本体(13)上に相互連結手段が設けられることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のカセット。

【請求項6】

前記相互連結手段は前記カセット(11)の対向する側部に設けられて、前記カセット本体(13)と係合状態にすることができる2つの枢動レバー(25)により形成される

ことを特徴とする請求項 5 に記載のカセット。

【請求項 7】

2つの延長部が、前記カセットリッド(23)の短側部上に成型され、前記延長部の各々の上に前記枢動レバー(25)のうちの1つが回転可能に配置されることを特徴とする請求項6に記載のカセット。

【請求項 8】

前記受入スペース(19)はリッドによって部分的に閉鎖されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載のカセット。

【請求項 9】

インジェクタピストン(20)が軸方向に変位可能に誘導されるインジェクタ本体(35)と、前記ピストンの本体に隣接するとともにカセット(11)を受けるためのアパー チャ(38)を有するインジェクタ前部と、前記アパー チャ(39)に隣接するとともに近位開口及び遠位開口を有するインジェクタノズル(33)とを備え、

請求項1乃至8のいずれかに記載のカセット(11)は、前記アパー チャ(39)内に配置されている又は配置可能であることを特徴とする、眼球内レンズ(33)を排出するためのインジェクタシステム。

【請求項 10】

前記カセット本体(13)を前記インジェクタ(31)に接続して向きを定めるために、前記カセット本体(13)及び前記インジェクタ(31)上に結合手段が設けられることを特徴とする請求項9に記載のインジェクタシステム。

【請求項 11】

前記カセット本体(13)を前記インジェクタ(31)に接続して向きを定めるために、前記カセット本体(13)及び前記インジェクタ(31)上に結合手段が設けられることを特徴とする請求項10に記載のインジェクタシステム。

【請求項 12】

前記カセット本体(13)は、前記インジェクタ(31)上に枢動可能に配置され、保管位置から注入位置に枢動可能であり、好ましくは前記カセット本体(13)の回転方向を定めるための手段が設けられることを特徴とする請求項9乃至11のいずれかに記載のインジェクタシステム。

【請求項 13】

前記カセット本体(13)を枢動後に注入位置にロックさせる手段が設けられることを特徴とする請求項9乃至12のいずれかに記載のインジェクタシステム。

【請求項 14】

前記ジャーナル容器(41)内に配置されるバネ要素(22)は、前記ジャーナル(15)が少なくとも2つのロック位置をとることができ受入開口を有することを特徴とする請求項11乃至13のいずれかに記載のインジェクタシステム。

【請求項 15】

前記インジェクタ本体(35)及びインジェクタノズル(33)は、支持体(37)上で互いに分離して配置され、前記インジェクタノズル(33)及び前記インジェクタ本体(35)間の距離は、前記カセット本体(13)が前記アパー チャ(39)内に回転可能に配置することができるように設計されることを特徴とする請求項9乃至14のいずれかに記載のインジェクタシステム。